

補正予算のポイント

平成31年3月
高松市財政課



I . 30年度3月補正予算の特色（一般会計）

（１）国の補正予算に伴う措置・補正（約17.5億円）

①学校の緊急重点安全確保対策【国１次補正】（約5.5億円）

- ・小・中学校校舎等整備費

②防災・減災、国土強靱化のための緊急対策に対する対応等【国２次補正】（約9.1億円）

- ・ブロック塀等改修経費
- ・港湾津波・高潮関連整備事業費
- ・小・中学校施設老朽化対策事業費
- ・小・中学校トイレ整備事業費
- ・中学校施設耐震化事業費 など

③その他の国の補正予算に伴う措置・補正【国２次補正】（約2.9億円）

- ・低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費
- ・風しんに関する追加的対策事業費

（２）持続可能な健全財政に向けた対応（約2.3億円）

（３）決算見込みなどに対応した増・減額補正（約▲0.2億円）

（４）繰越明許費の措置（全104事業：約74.6億円）

Ⅱ． 3月補正の規模

※以下、四捨五入の関係上、各表間の計数、増減率が合わない場合がある。

一般会計補正額は、国の補正予算に伴う事業費の増や、決算見込みなどに対応した事業費の増減により、合わせて約20億円の増額補正

(百万円・%)

区分		補正前	補正額	補正後	当初予算比
一般会計 (A)		159,926	1,960	161,886	105.6
特別会計 (B)		107,427	644	108,071	102.8
企業 会計 (C)	病院事業	16,677	130	16,807	101.9
	下水道事業	22,243	▲1,198	21,045	94.5
全会計 (A+B+C)		306,272	1,537	307,808	103.6

※特別会計の補正額は国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、介護保険事業特別会計、食肉センター事業特別会計、競輪事業特別会計、卸売市場事業特別会計、駐車場事業特別会計

Ⅲ. 3月補正の主な内容

(1) 国の補正予算に伴う措置・補正

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費 【健康福祉総務課】

補 正 額	財 源
184,049千円	国 184,049千円

消費税・地方消費税率引上げに伴い、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起・下支えするために、低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業を実施します。

対象者	- 平成31年1月1日時点の住民のうち、平成31年度の住民税が非課税である者 2019年6月1日時点の住民のうち、平成28年4月2日以降に生まれた子が属する世帯の世帯主
利用可能額	- 低所得者向け：2万5千円（販売価格2万円） - 子育て世帯向け：2万5千円（販売価格2万円）×対象となる子どもの数
販売期間	2019年10月～（予定）

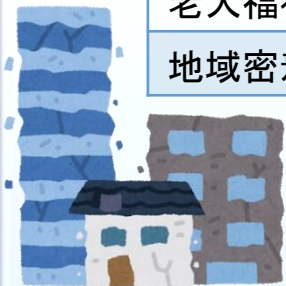


障害者福祉施設等整備事業補助金 老人福祉施設整備事業補助金 地域密着型サービス施設等整備事業費補助金 【障がい福祉課・長寿福祉課・介護保険課】

補 正 額	財 源
29,675千円	国 27,163千円
	市債 2,100千円
	一財 412千円

社会福祉施設等の防災・減災の対策として、ブロック塀等の改修や非常用自家発電設備の整備に係る費用を助成します。

障害者福祉施設等	2施設
老人福祉施設等	8施設
地域密着型サービス施設等	6施設



ふれあい福祉センター勝賀管理運営費
高松城跡整備事業費
校舎等整備費（小学校・中学校）

【長寿福祉課】
【文化財課】
【教育局総務課】

法令に不適合なものや損傷劣化が著しい小・中学校など市有施設のブロック塀等について、市民の安全を確保するため、フェンス等に改修します。

補正額	財源	
577,734千円	国	186,269千円
	市債	391,200千円
	一財	265千円

工事概要

- ・ 既設ブロック塀等の撤去
- ・ フェンス等新設

改修前



改修後



風しんに関する追加的対策事業費 【保健センター】

補正額	財源
108,249千円	国 一財
	37,112千円 71,137千円

風しん感染拡大防止のため、特に抗体保有率の低い現在39歳から56歳の男性に対して、風しんの抗体検査及び予防接種を実施します。

対象者	昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までに生まれた男性
内容	対象者に抗体検査を実施し、結果が陰性だった方に予防接種を行う
費用	無料



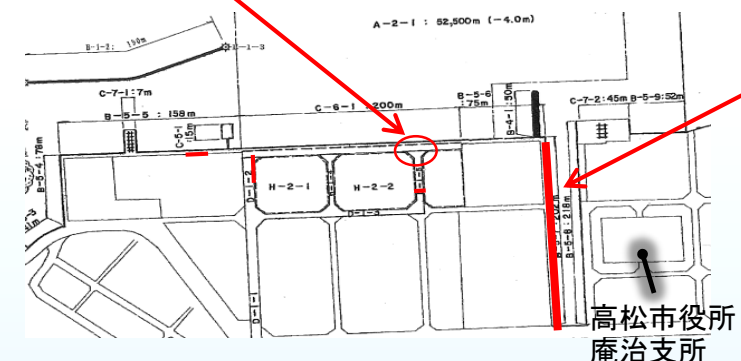
港湾津波・高潮関連整備事業費 【河港課】

補正額	財源
63,000千円	国 県 市債
	30,000千円 3,000千円 30,000千円

津波対策のため、庵治港胸壁等整備工事を行います。



- 【平成30年度追加内容】
- ・胸壁工 L=200メートル
 - ・陸こう 5基



小学校施設老朽化対策事業費
中学校施設老朽化対策事業費

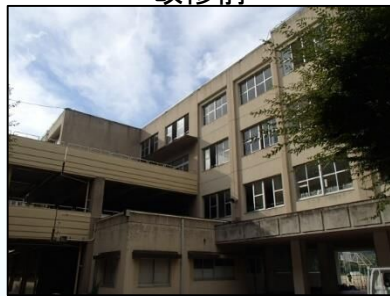
【教育局総務課】

補正額	財源
113,396千円	国
	22,557千円
	市債
	81,400千円
	一財
	9,439千円

小・中学校の校舎の老朽化が著しいため、外壁改修・屋上防水工事を行います。

	外壁改修	屋上防水
小学校	3校	1校
中学校	1校	

改修前



改修後



※ その他、決算見込に伴う減額補正▲58,247千円を計上

小学校トイレ整備事業費、中学校トイレ整備事業費
多肥小学校校舎等建設事業費

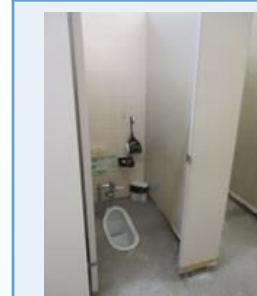
【教育局総務課】

補正額	財源
766,739千円	国
	237,083千円
	市債
	528,700千円
	一財
	956千円

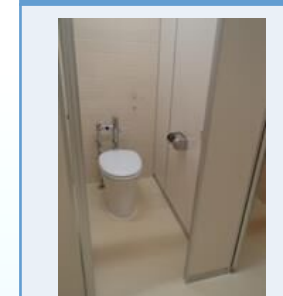
小・中学校のトイレを洋式・多目的化するため、改修・整備を行います。

トイレ改修工事（小学校：7校 中学校：3校）
トイレ整備工事（多肥小学校屋外運動場）

改修前



改修後



※ その他、決算見込に伴う減額補正▲72,933千円を計上

中学校施設耐震化事業費

【教育局総務課】

補 正 額	財 源	
42,717千円	国	14,239千円
	市債	28,400千円
	一財	78千円

天井落下防止対策を講じるため、屋内運動場の非構造部材（つり天井等）の耐震化改修工事を行います。

協和中学校屋内運動場天井改修工事

改修前



改修後



(2) 持続可能な健全財政に向けた対応

元金償還金

【財政課】

補 正 額	財 源
232,877千円	繰上 232,877千円

市債残高の抑制を図るため、市債を繰上償還します。

(3) 決算見込みなどに対応した増・減額補正 (約▲0.2億円)

【歳出関係】

①予定していた事業費の増・減

・増額の主なもの

障害福祉サービス給付費 158,000千円 生活保護扶助費 434,000千円 など

・減額の主なもの

新駅等整備事業費 ▲447,000千円 街路事業費 ▲305,000千円 など

②特別会計、企業会計の補正に伴う繰出金等の増・減

国民健康保険事業特別会計繰出金 1,144,250千円 介護保険事業特別会計繰出金 ▲150,490千円

下水道事業会計負担金・補助金 ▲158,300千円 など

③その他

過年度収入精算返還金 181,622千円 など

【歳入関係】

- ・企業業績の回復に伴う法人市民税の増や固定資産税の増等に伴う市税の増 70,000千円
- ・普通交付税、臨時財政対策債の決定に伴う増減 地方交付税 277,385千円 臨時財政対策債 ▲73,434千円
- ・土地開発公社事業資金貸付金償還金が当初の見込みを下回ることによる減 ▲340,001千円 など

(4) 繰越明許費の措置 (全104事業：約74.6億円)

【国の補正予算に伴うもの】

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券事業費など 16事業 計1,930,570千円

国の補正予算事業の執行に当たり、実施期間を確保するため、翌年度に繰り越して執行するものなど

【その他繰越事業】

防災IoT利活用事業費など 88事業 計5,527,548千円

設計内容の検討に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため、翌年度に繰り越して執行するものなど